

「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業」最終評価結果表

研究領域等	研究領域2 地域のアイデンティティーの解明—相互理解を深めるために—
研究課題名	東南アジアのイスラーム:トランスナショナルな連関と地域固有性の動態
責任機関	東京外国語大学
研究代表者	床呂 郁哉 (アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授)
研究期間	平成18年度 ~ 平成22年度
主に研究対象とする国名	(インドネシア) (マレーシア) (フィリピン) (タイ)

総合評価

- () S. 所期の研究計画以上の取組が行われた。
 () A. 所期の研究計画と同等の取組が行われた。
 (○) B. 概ね所期の研究計画と同等の取組が行われたが、一部で当初計画以下の取組もみられた。
 () C. ある程度所期の研究計画と同等の取組が行われたが、当初計画以下の取組もみられた。
 () D. 所期の研究計画以下の取組であったが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組もみられた。
 () E. 総じて所期の研究計画以下の取組であった。

[コメント]

イスラーム復興が顕著となる東南アジアのイスラーム理解を目的とし、文献とフィールドワークを併用することで国際的な規模での研究と社会的還元を行い、所期の研究計画は概ね達成されたと言える。

しかしながら、東南アジアのイスラームの固有性とは何か、なぜ今イスラーム復興が起きているのか、トランスナショナルな連関とは何かといった研究主題についての答えが説得的に提示されているとは言えない。また、社会的還元についても対象・方法や、その波及効果を含めて、発信力の強いニーズ対応となっているとは言い難い。

学術的にはミクロな視点による研究成果に優れたものがあるが、ニーズ対応を含めて、比較研究や中長期的なマクロかつトランスナショナルな視点を踏まえた新しい地域研究のあり方について、プロジェクトとして提案することが期待される。

項目ごとの評価

1. 本事業の目的及び研究領域等の趣旨に合致した研究が実施されたか。

- A. 十分実施された B. 概ね実施された
 C. ある程度実施された D. あまり実施されなかった
 E. 実施されなかった

[コメント]

実施された研究によって、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピンなどの東南アジア各国を対象として、政治、経済、文化の諸側面にわたってイスラームの重要性を明らかにし、イスラームの客観的で正確な理解という目的は、文献とフィールドワークを通じた個別地域におけるアイデンティティー解明という形で概ね実施された。これは相互理解を深めるための地域のアイデンティティーの解明という研究領域の趣旨に合致しており、評価できる。

しかしながら、研究課題に盛り込まれた、「東南アジア」地域全体、トランスナショナルな視点からの掘り下げ、ないしはプロジェクトとしての総括・統合が十分とは言えず、イスラームの多様性を指摘してイスラーム理解を深めたが、そこから見えてくる地域像は何かという地域研究としての統合的パースペクティブを提示することが必要である。

2. 設定されている社会的・政策的ニーズに応える形で研究が実施されたか(研究の過程)。

- A. 十分実施された B. 概ね実施された
 C. ある程度実施された D. あまり実施されなかった
 E. 実施されなかった

[コメント]

東南アジア諸国におけるイスラームと地域固有性について、学術的なミーティング、ワークショップ、セミナー、国際シンポジウムだけではなく、公開講座、翻訳事業、ホームページによる発信など、対象を絞った確実な手法を取ることによって、社会的・政策的ニーズに応える形で研究が進められたことは評価できる。

しかしながら、社会的・政策的ニーズに対する掘り下げがこのプロジェクトとして十分にされたとは言いがたい。

また、東南アジア地域以外の研究者をメンバーとして、地域間連携チームを組織したが、研究の過程におけるプロジェクトとしての積極的な統合への努力が必要であった。

3. 社会的・政策的にニーズに応える研究成果が創出されたか。

- A. 十分創出された B. 概ね創出された
 C. ある程度創出された D. あまり創出されなかった
 E. 創出されなかった

[コメント]

研究会や一般向けの公開セミナーなどの開催頻度は極めて高く、シンポジウムやネットでの翻訳など成果の発信もおこなわれており、研究成果は概ね出されたと評価できる。

しかしながら、イスラームを中心とした「トランスナショナルな連関と地域固有性」という課題についての新しい知見や掘り下げが十分とは言えず、若干の留保をつけざるを得ない。

ニーズの対象者をより広く設定して、なぜ東南アジアのイスラーム研究が重要なのか、日本人に必要不可欠なニーズは何かなど、ニーズの内容についても十分に説明する必要がある。

4. 学術的に高い水準が確保されているか。

- A. 十分確保されている B. 概ね確保されている
 C. ある程度確保されている D. あまり確保されていない
 E. 確保されていない

[コメント]

個々の論文等は研究の先端を行くものがあることは疑いないが、プロジェクト全体の成果として十分に高い水準が確保されているとは言い難い。

また、著作物、講演などの内容は、研究参加者個人の実績から生まれた、一般的「啓蒙」に近いものが含まれているように、東アジアにおけるイスラーム固有の新たな知見を十分に発見できず、学術的な成果は今後期待する。